

追悼式

①呉市戦没者戦災死者及び旧呉鎮守府管内非戦闘員殉職者合同慰靈式



※写真提供 呉市

開催概要(平成24年度)

歳事名：呉市戦没者戦災死者及び旧呉鎮守府管内非戦闘員殉職者合同慰靈式

会場：呉市文化ホール

(JR呉駅 徒歩7分)

日時：平成24年6月30日(土) ※例年6月30日開催

参列者数：800人

連絡先：呉市 福祉保健部 福祉保険課 0823-25-3265(直通)

式次第(平成24年度)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 開式 | 8. 呉市議会議長追悼の辞 |
| 2. 御靈入場 | 9. 遺族代表追悼の辞 |
| 3. 国歌斉唱 | 10. 呉市立呉高校生徒代表による平和の誓い |
| 4. 黙祷 | 11. 献花 |
| 5. 呉市長式辞 | 12. 追悼吟詠 |
| 6. 広島県知事追悼の辞 | 13. 「呉市歌」斉唱 |
| 7. 広島県議会議長追悼の辞 | 14. 閉式 |

式辞(平成24年度)

本日ここに 御遺族 御来賓各位 並びに多くの市民の皆様のご臨席のもと 平成二十四年度呉市戦没者戦災死者及び 旧呉鎮守府管内非戦闘員殉職者合同慰靈式を挙行するにあたり 御靈の御前に 謹んで哀悼の誠を捧げます。

国の命運をかけて戦い 多くの国民の命が捧げられた先の大戦から六十七年の歳月が過ぎ去ろうとしています。

顧みますと この大戦では それぞれの地域から 多くの方々が故郷を離れ ひたすら祖国の安泰と繁栄を願い 家族の無事を念じながら 国の御盾となつて戦場に散り また 郷土呉では激しい空襲により 多くの市民の命が失われました。ここに改めて 戦没者をはじめ お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

最愛の肉親を失われた ご遺族の皆様におかれましては 深い悲しみを胸に 戦後の混亂期から幾多の苦難を乗り越えてこられた御労苦に対しまして 心から御慰労を申し上げますとともに敬意を表する次第でございます。

今日 私共が享受している平和と繁栄が英靈やご遺族の方々の尊い精神と御労苦の上に築かれていることを決して忘れてはならず このことこそが 私共の国家や社会を成り立たせている本質的要素であることを 次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。

呉市は今年 市政施行から百十周年を迎えた これを機に 私共は先人の残してくれた郷土のすばらしい自然や歴史 文化といったかけがえのない財産を掘り起こし 頤彰して次の世代に継承していくための取り組みに着手いたしました。

戦後の社会は大きく変化し 私共は豊さを享受する一方で 諸々の課題を抱えておりますが御靈の御遺志を受け継ぎ 雄々しく 市民の絆と活力ある呉市を目指し 渾身の努力を傾注して参る所存でございます。

どうか 御靈のご加護と 市民の皆様の御支援 御尽力を賜りますよう 衷心よりお願い申し上げます。

在天の御靈の こしえに安らかなんことをお祈り申し上げ 御遺族の皆様の御多幸と御健勝 並びに郷土呉市の繁栄を祈念いたしまして式辞といたします。

平成二十四年六月三十日
呉市長 小林 和年

② 供養地蔵菩薩



基本情報

所 在 : 寺西児童公園
 住 所 : 広島県呉市本町13
 (JR呉駅 徒歩2分)
 連絡先 : 個人であり記載せず
 建立者 : 寺西自治会
 建立年 : 昭和25年9月23日

碑 文

供養地蔵菩薩

昭和二十年七月二日拂曉の戦災により死亡された
 呉市約二千名の菩提を吊ふため最も遭難
 者の多かった和庄地区内各町の有志相図り
 市民の篤志により茲に聖地を選び供養
 地蔵菩薩を建立して永久に供養しその冥福
 を祈り併せて人類の平和を念願するものである

昭和二十五年九月二十三日建之

追悼施設

③ 戦災犠牲者追悼会



開催概要（平成24年度）

歳事名 : 戦災犠牲者追悼会
 会場 : 寺西児童公園
 (JR呉駅 徒歩2分)
 日 時 : 平成24年7月1日(日) ※例年7月1日開催
 参列者数 : 約40人
 連絡先 : 個人であり記載せず

式次第（平成24年度）

なし

説明文

挨拶（平成24年度）

「戦災犠牲者追悼会」挨拶

本日は忙しい中を、又足元の悪い中を自治会行事のひとつであります「戦災犠牲者追悼会」に出席頂きまして、ありがとうございます。

本日も例年の様に追悼会を開催し、60数年前に亡くなられた多くの方を偲び、ご供養

をしたいと思います。

和平な世の中にはありますが、今一度風化することなく、亡き方々を偲び、皆様とともに、ご供養を申し上げたいと思います。

併せて、日本の平和、世界の平和、皆様のご健勝と繁栄を祈念いたします。

最後になりましたが、水谷のおばちゃんには、いつも祭壇、お世話になります。

又、役員さん、班長さん、町内の方には公園の清掃、会館の掃除、その他色々ご苦労様でした。

以上 簡単ですが、ご挨拶とさせていただきます。

平成二十四年七月一日
 寺西自治会 会長

④ 戦災供養地蔵尊・供養塔



基本情報

所 在 : 和庄児童公園
住 所 : 広島県呉市本町18
(JR呉駅 徒歩19分)
連絡先 : 個人であり記載せず
建立者 : 市民有志
建立年 : 昭和38年7月1日、平成17年6月15日（再建立）

碑 文

【台座】

戦災供養

説明文

【表】

供養塔
昭和二十年七月一日建之
昭和二十年七月一日の空襲の時
和庄防空壕で約八百人あまりの
お方が災死せられましたこの地を
記念し御冥福を祈念するため
この地蔵尊を建立する

【左横】

昭和三十八年七月一日建之

【裏】

世話人
(個人名)

【右横】

寺西町
寄進者 松川石材店

⑤ 呉空襲犠牲者慰靈祭



開催概要（平成24年度）

歳事名 : 呉空襲犠牲者慰靈祭
会場 : 和庄児童公園
(JR呉駅 徒歩19分)
日 時 : 平成24年7月1日（日）※例年7月1日開催
参列者数 : 約40人
連絡先 : 個人であり記載せず

式次第（平成24年度）

1. 開会の言葉 : 司会者
2. 世話人挨拶 : 世話人代表
3. 来賓挨拶 : 岡崎市会議員
4. 読経 : 法輪寺住職
5. お札の言葉 : 司会者

挨拶（平成24年度）

戦災記念日 挨拶 平成24年7月1日

本日はあいにくの雨の中、お参り頂き有難うございます。毎年、防空壕での悲惨状況をお話しているので、今日は少し省略させて頂きます。あれから六十六年、皆様のおかげで今までご供養が出来ましたこと、心から感謝しています。呉市の命令で六千人、入れる防空壕を突貫工事で作りはじめ、この公園にはびっしりと家が建ち並んでいましたが強制疎開で立ち退きました。一軒だけ、市の課長宅は立ち退きませんでした。この家にB29の爆撃機が落ちて、五ヶ所ある壕の入口に火の粉、煙が入った為に多くの人達は蒸し焼き状態となり、もだえ苦しみ、阿鼻叫喚の中、断末魔の声で「水！水！…」「助けて！」と声を上げながら旅立って逝きました。この付近には、幼子を始め沢山の遺体がずらりと並んでいました。かけがえもない命を取り戻すすべもなく、数え切れない程の人達が黄泉路へと旅立って逝かれました。壕の中で産気づいた人もおられ、この川の中には後產も二～三ありました。戦中戦後は全国民すべてが物質不足で苦しい生活を乗り越えて、今は平和な幸せを、享受しています。後年、この付近火の玉が出るようになり、ご供養をしようと言う声が高まりお地蔵さんを建立、今日までご供養をしてきました。元気バリバリの私も八六歳のヨボヨボ老人となりまもなく認知症も始まろうとしています。今まで長い間、皆様と共に、ご供養させて頂いたことを喜び、心からお礼を申しあげ、ご挨拶とさせて頂きます。
有難うございました。

世話人代表
宮本澄枝

⑥ 彼岸堂・此彼堂・供養碑 城家防空壕戦災死者



※写真提供 呉戦災を記録する会

基本情報

所 在：亀山神社・和庄小学校東下向い、念佛坂の奥
 住 所：広島県呉市三和町4-1
 （JR呉駅 徒歩30分 市バス「和庄小学校下」下車 徒歩10分）
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：個人であり記載せず
 建立年：彼岸堂、此彼堂…昭和63年
 供養碑…不明

碑 文

【上階】
彼岸堂

【下階・右】

供養碑
城家防空壕戦災死者

【下階】

此彼堂

⑦ 空襲戦災死者供養



※写真提供 呉戦災を記録する会

開催概要（平成24年度）

歳事名：空襲戦災死者供養
 会場：此彼堂
 （JR呉駅 徒歩30分 市バス「和庄小学校下」下車 徒歩10分）
 日 時：平成24年7月1日（日）※例年7月1日開催
 参列者数：約15人
 連絡先：個人であり記載せず

式次第（平成24年度）

概要

巨大横穴式防空壕で数百人が焼死した。その跡地に彼岸堂・城下防空戦災死者供養碑が建立され、毎年遺族、関係者により慰靈祭が行われている。

なし

⑧ 因島空襲記念日・東日本大震災復興支援 7.28 ピースコンサート



※写真提供 因島ピースコンサート実行委員会

開催概要（平成24年度）

歳事名：因島空襲記念日・東日本大震災復興支援 7.28 ピースコンサート
 会場：因島市民会館 大ホール
 （JR尾道駅より おのみちバス「因島総合支所前」下車 徒歩5分）
 日時：平成24年7月28日（土）※例年7月28日開催
 参列者数：650人
 連絡先：因島ピースコンサート実行委員会

式次第（平成24年度）

1. 主催者挨拶：「因島空襲のこと」
2. 朗 読：井伏鱒二作品「因ノ島」「鞆ノ浦付近」
3. 歌：「8月の空」他
4. 歌：「光ある日に…」他
5. メッセージ
6. 歌：「アイランド オブ ピース因島」他

挨拶（平成24年度）

「因島空襲のこと」

昭和20年7月28日、生後10ヶ月の私は、母と祖母とともに、米軍の空襲によって全壊した三庄町神田の自宅の下敷きになり、仮死状態から生還し、現在まで生きてきました。

因島空襲とは何でしょうか。想像してみてください。当時の因島には、軍需工場が三庄、土生、田熊と展開していました。今の日立造船因島工場がその中心だったのであります。また西浦、重井、大浜の海岸は陸軍の燃料基地だったのであります。今のアメニティ公園もそうだったのであります。

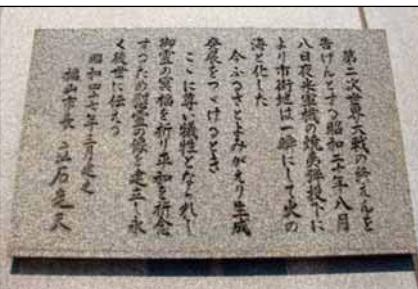
米軍は土生、三庄の工場を3月19日、7月28日と二回にわたって攻撃しました。想像してみてください。造船所で働いている者は、空からの攻撃に抵抗する術はありません。防空壕に避難できなかった子どもたちはどうなったのでしょうか。多くの従業員、船員、軍人が犠牲になりました。三庄町では、多くの子どもをはじめ17人といわれる住民がなくなりました。

事實を新聞社も報道局も伝えませんでした。行政も企業もウソをつき、事實を隠しました。現場に行って、自らの目で確かめ、空襲があったことを想像してみてください。因島公園から土佐、三庄の空襲現場がよく見えます。弓削島、生名島から土佐、三庄を見てください、工場がよく見えます。

文豪・井伏鱒二是戦後まもなく因島を訪れ、撃沈された船舶を目撃しました。しかも占領軍の言論統制の下ではありましたが、勇気をもって、それを「因ノ島」という作品にしました。また、しばらくたって「鞆ノ浦付近」という作品を発表しました。朗読をお聞きください。

因島ピースコンサート実行委員会

⑨ 福山市戦災死没者慰靈碑



※写真提供 福山市

基本情報

所 在 : 福山市中央公園
 住 所 : 広島県福山市霞町1-10
 (JR福山駅 徒歩10分)
 連絡先 : 福山市 保健福祉局 福祉部 福祉総務課 084-928-1061 (直通)
 建立者 : 福山市
 建立年 : 昭和47年3月

碑 文

【表】

追憶

潮騒の永遠に高く 涌き立ち昇る雲なみの下
 今ふるさとに甦り 生成発展をつづけるとき
 当時を回顧し 御靈の冥福を祈り 平和を祈念し
 われら相寄り 慰靈の像を建立し 後の世に留める

福山市長 立石 定夫

説明文

第二次世界大戦の終えんを告げんとする昭和二十年八月八日夜米軍機の焼夷弾投下により市街地は一瞬にして火の海と化した
 今ふるさとよみがえり生成発展をつづけるとき
 ここに尊い犠牲となられし御靈の冥福を祈り平和を祈念するため慰靈の像を建立し永く後世に伝える

昭和四十七年三月建之
 福山市長 立石定夫

⑩ 原爆・福山戦災死没者慰靈式



※写真提供 福山市

開催概要 (平成24年度)

歳事名 : 原爆・福山戦災死没者慰靈式
 会場 : 福山市中央公園 福山市戦災死没者慰靈碑前
 (JR福山駅 徒歩10分)
 日 時 : 平成24年8月8日(水) ※例年8月8日開催
 参列者数 : 300人
 連絡先 : 原水爆禁止運動福山推進連盟事務局/福山市 保健福祉局 福祉部 福祉総務課 084-928-1061 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 黙とう
2. 開式のことば : 原水爆禁止運動福山推進連盟副会長
3. 献花
4. 追悼のことば : 福山市長、福山市議會議長
5. 折り鶴献納 : 福山市女性連絡協議会代表、保育所・幼稚園・小・中学校代表 他
6. 折りばら献納 : Rose for Peace 折りばらの会代表 他
7. 閉式のことば : 原水爆禁止運動福山推進連盟副会長
8. 流れ献花

追悼のことば (平成24年度)

第五十八回原爆・福山戦災死没者慰靈式が挙行されるにあたり、福山市民を代表いたしまして、追悼のことばを申し上げます。

一九四五(昭和二十)年八月八日二十二時二十五分頃から始まつた、B二十号爆撃機九十一機による焼夷弾投下によって、本市は炎と爆音に包まれ、焦熱地獄と化し、三百五十四名にもおよぶ市民が亡くなられました。また、八月六日には長崎市に原爆が投下され、一瞬の閃光と、身を焦がす灼熱、轟音とともに両市は瓦礫の街となり、歴史上、類をみない焼損のなか、多くの方が被爆され亡くなられました。

ここに、福山空襲・原子爆弾により尊い生命を奪われた方々に対し、謹んで哀悼の意を表します。

戦後、我が国は、国際社会の一員として、目ざましい発展をとげ、我が郷土、福山も、空襲による焼け野原からは想像も出来なかつた繁栄を築いて参りました。戦後八十七年を経た今日、戦災の痕跡は姿を留めず、我々市民の意識の中にも、当時の記憶が薄れてきております。しかしながら、今なお世界の多くの地で戦争や紛争が起きております。人類の歴史を振り返っても、これまで教え切れないほどの戦争がありました。平和は、努力なくしては享受できないことを、私達は歴史から学ばなければなりません。

恒久平和の実現には、國や人種や宗教を超えた地球規模の取り組みが必要であります。そのためには、私たち市民一人ひとりの行動が欠かせません。

本日の慰靈式に臨み、私は「平和非核都市福山宣言」の精神に基づき、平和と命の尊さを再認識し、風化しつつある戦争、被爆体験を後世に伝え、再び悲しみの歴史を織り返すことのないよう決意を新たにすると共に、平和で核兵器のない世界の実現に向けて、力を尽くすことを、ここにお誓い申しあげます。

終わりに、原爆・福山戦災死没者の御靈の安らかならんことを、そして御遺族の御健勝を祈念申し上げ、追悼のことばをいたします。

二〇一二年(平成二十四年) 八月八日
 福山市長 羽田皓

11 福山市戦災死没者慰靈の像（母子三人像）



※写真提供 福山市人権平和資料館

基本情報

所 在：福山市人権平和資料館
 住 所：広島県福山市丸之内1-1-1
 （JR福山駅 徒歩10分）
 連絡先：福山市人権平和資料館 084-924-6789
 建立者：福山市
 建立年：平成6年8月

碑 文

なし

説明文

福山市制五十五周年記念事業として、1972年に記念碑を建立。
 被災した母子を目撃した話をもとに、石碑でなく母子像を設置した。
 人権平和資料館の建設を記念して、福山空襲を象徴するものとして、
 1994年にもう1体、室内用に製作された。

被災母子の目撃談

8月9日の朝、火照るような暑い市中に入り、住吉町の水田の中に、母子3人の焼死体を見つけました。母親はよつん這いになり、胸にすがりついた赤ちゃんを、片手でしっかりと抱きよせ、まるで乳を飲ませるような格好でした。

そして、その母親の後ろ足を6歳くらいの子が両手でしっかりとつかまえて、ひざまずいていました。着物などは焼けてしまって、遺体はまるでろう人形のようでした。水田の中に入つていれば、水があるので助かると思ったのでしょうか、稻は焼け、水は枯れて母子は蒸し焼きになつてしまつたのです。

荒木計三：談